

小中学校のあり方意見交換会（北川辺中学校区） 次第

日時 令和5年12月19日（火）  
15:00～  
場所 北川辺文化・学習センター  
（みのり） ホール

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 資料説明
- 5 幼稚園・小中学校評議員による意見交換
- 6 意見発表
- 7 閉会

【配布資料】

- 資料1 令和5年度 児童生徒数及び学級数
- 資料2 学校別児童数増減一覧（平成22年と令和5年の比較）
- 資料3 学校別児童数増減（平成22年からの増減）
- 資料4 小・中学校位置図
- 資料5 令和11年度 児童生徒数及び学級数（見込み）
- 資料6 北川辺中学校区 児童生徒数及び学級数

## 令和5年度 児童生徒数及び学級数

令和5年5月1日現在

[小学校]		児 童 数							学 級 数							
NO	学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学	計
1	加 須 小	57	70	63	63	67	76	396	2	2	2	2	2	2	5	17
2	不 動 岡 小	37	35	33	28	34	42	209	2	1	1	1	1	1	2	9
3	三 俣 小	100	94	93	87	82	96	552	3	3	3	3	3	3	3	21
4	礼 羽 小	46	55	46	45	27	42	261	2	2	2	2	1	1	3	13
5	大 桑 小	87	74	85	69	85	84	484	3	3	3	2	3	2	5	21
6	水 深 小	111	100	111	98	97	103	620	4	3	4	3	3	3	5	25
7	樋 遣 川 小	21	11	14	16	14	24	100	1	1	1	1	1	1	2	8
8	志 多 見 小	16	17	20	19	26	19	117	1	1	1	1	1	1	2	8
9	大 越 小	7	6	13	5	7	14	52	1	1	1	1	1	1	1	6
10	花 崎 北 小	36	30	33	55	39	60	253	1	1	1	2	2	2	2	11
11	加 須 南 小	21	30	31	24	43	29	178	1	1	1	1	2	1	2	9
12	騎 西 小	27	44	33	31	44	40	219	1	2	1	1	2	1	2	10
13	田 ケ 谷 小	20	24	15	26	27	24	136	1	1	1	1	1	1	2	8
14	種 足 小	23	12	27	26	24	25	137	1	1	1	1	1	1	2	8
15	鴻 荃 小	15	12	18	8	17	25	95	1	1	1	1	1	1	1	7
16	高 柳 小	36	42	29	39	23	27	196	2	2	1	2	1	1	2	11
17	北川辺西小	21	20	29	31	31	33	165	1	1	1	1	1	1	2	8
18	北川辺東小	22	32	25	27	33	36	175	1	1	1	1	1	1	2	8
19	大 利 根 東 小	35	36	35	33	32	33	204	1	1	1	1	1	1	2	8
20	原 道 小	17	14	20	16	21	23	111	1	1	1	1	1	1	2	8
21	豊 野 小	13	14	13	13	20	18	91	1	1	1	1	1	1	1	7
22	元 和 小	61	47	46	44	39	32	269	2	2	2	2	2	1	2	13
小学校計		829	819	832	803	832	905	5,020	34	33	32	32	32	29	52	244

[中学校]		生 徒 数					学 級 数							
NO	学校名	1年	2年	3年		計	1年	2年	3年		特学	計		
1	昭 和 中	204	212	204		620	6	6	5		3	20		
2	加 須 西 中	132	107	116		355	4	3	3		4	14		
3	加 須 東 中	150	119	118		387	4	3	3		4	14		
4	加 須 北 中	30	38	34		102	1	1	1		1	4		
5	加 須 平 成 中	107	109	115		331	3	3	3		3	12		
6	騎 西 中	144	156	157		457	4	4	4		4	16		
7	北 川 辺 中	77	57	81		215	2	2	2		2	8		
8	大 利 根 中	111	102	110		323	3	3	3		3	12		
中学校計		955	900	935		2,790	27	25	24		24	100		
[小・中学校計]		児童生徒数計					7,810	学 級 数 計					76	344

## 学校別児童数増減一覽(平成22年と令和5年の比較)

## 【増減児童数降順】

(単位:人、%)

NO	学校名	平成22年	令和5年	増減児童数	増減率
1	水深小	292	620	328	112%
2	元和小	130	269	139	107%
3	高柳小	133	196	63	47%
4	三俣小	526	552	26	5%
5	不動岡小	219	209	-10	-5%
6	豊野小	110	91	-19	-17%
7	大越小	76	52	-24	-32%
8	原道小	140	111	-29	-21%
9	樋遣川小	137	100	-37	-27%
10	志多見小	164	117	-47	-29%
11	大桑小	537	484	-53	-10%
12	田ヶ谷小	189	136	-53	-28%
13	種足小	216	137	-79	-37%
14	鴻荃小	181	95	-86	-48%
15	花崎北小	352	253	-99	-28%
16	北川辺東小	284	175	-109	-38%
17	大利根東小	314	204	-110	-35%
18	加須南小	308	178	-130	-42%
19	北川辺西小	308	165	-143	-46%
20	騎西小	365	219	-146	-40%
21	礼羽小	414	261	-153	-37%
22	加須小	598	396	-202	-34%
計		5,993	5,020	-973	-16%

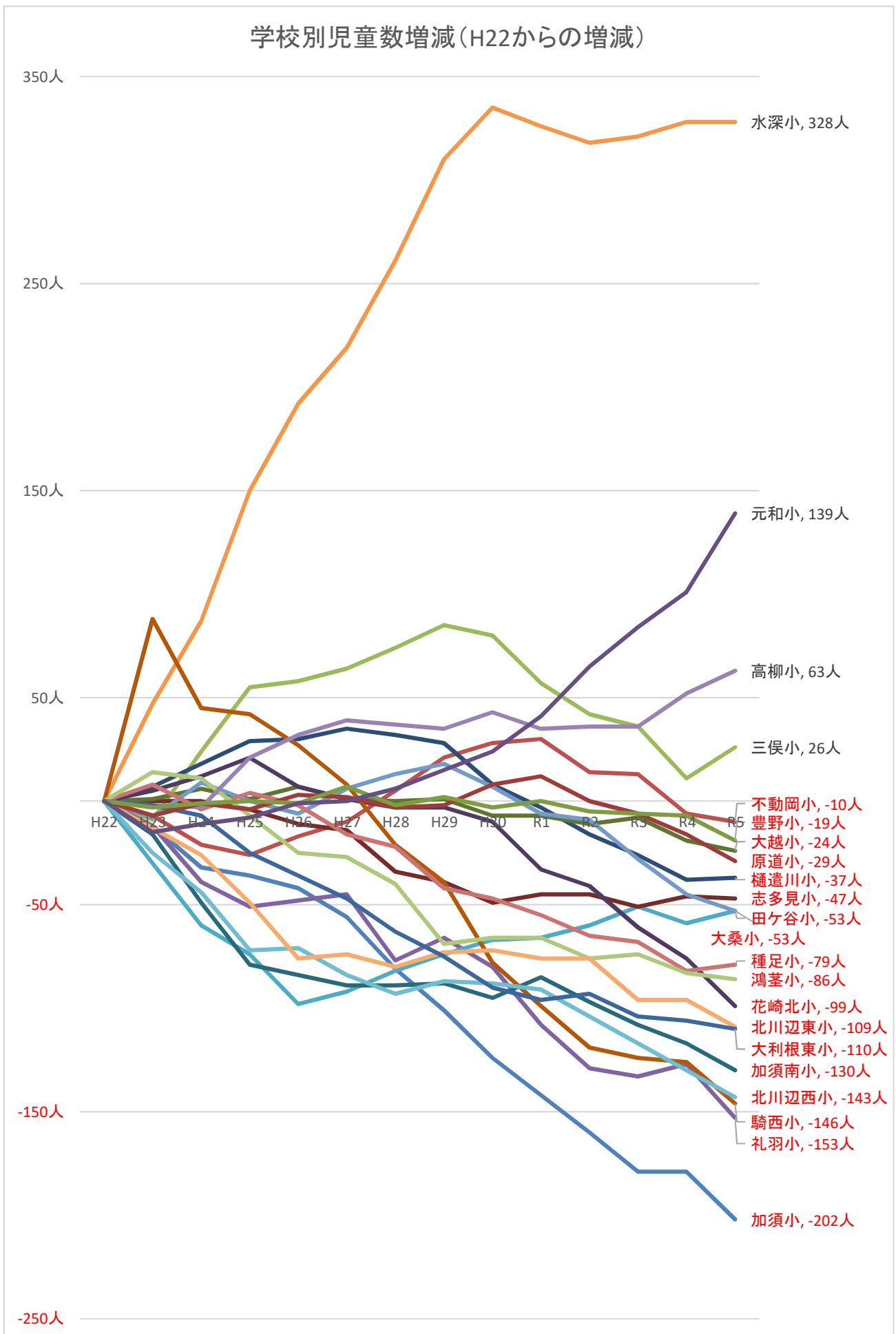
## 【増減率降順】

(単位:人、%)

NO	学校名	平成22年	令和5年	増減児童数	増減率
1	水深小	292	620	328	112%
2	元和小	130	269	139	107%
3	高柳小	133	196	63	47%
4	三俣小	526	552	26	5%
5	不動岡小	219	209	-10	-5%
6	大桑小	537	484	-53	-10%
7	豊野小	110	91	-19	-17%
8	原道小	140	111	-29	-21%
9	樋遣川小	137	100	-37	-27%
10	田ヶ谷小	189	136	-53	-28%
11	花崎北小	352	253	-99	-28%
12	志多見小	164	117	-47	-29%
13	大越小	76	52	-24	-32%
14	加須小	598	396	-202	-34%
15	大利根東小	314	204	-110	-35%
16	種足小	216	137	-79	-37%
17	礼羽小	414	261	-153	-37%
18	北川辺東小	284	175	-109	-38%
19	騎西小	365	219	-146	-40%
20	加須南小	308	178	-130	-42%
21	北川辺西小	308	165	-143	-46%
22	鴻荃小	181	95	-86	-48%
計		5,993	5,020	-973	-16%

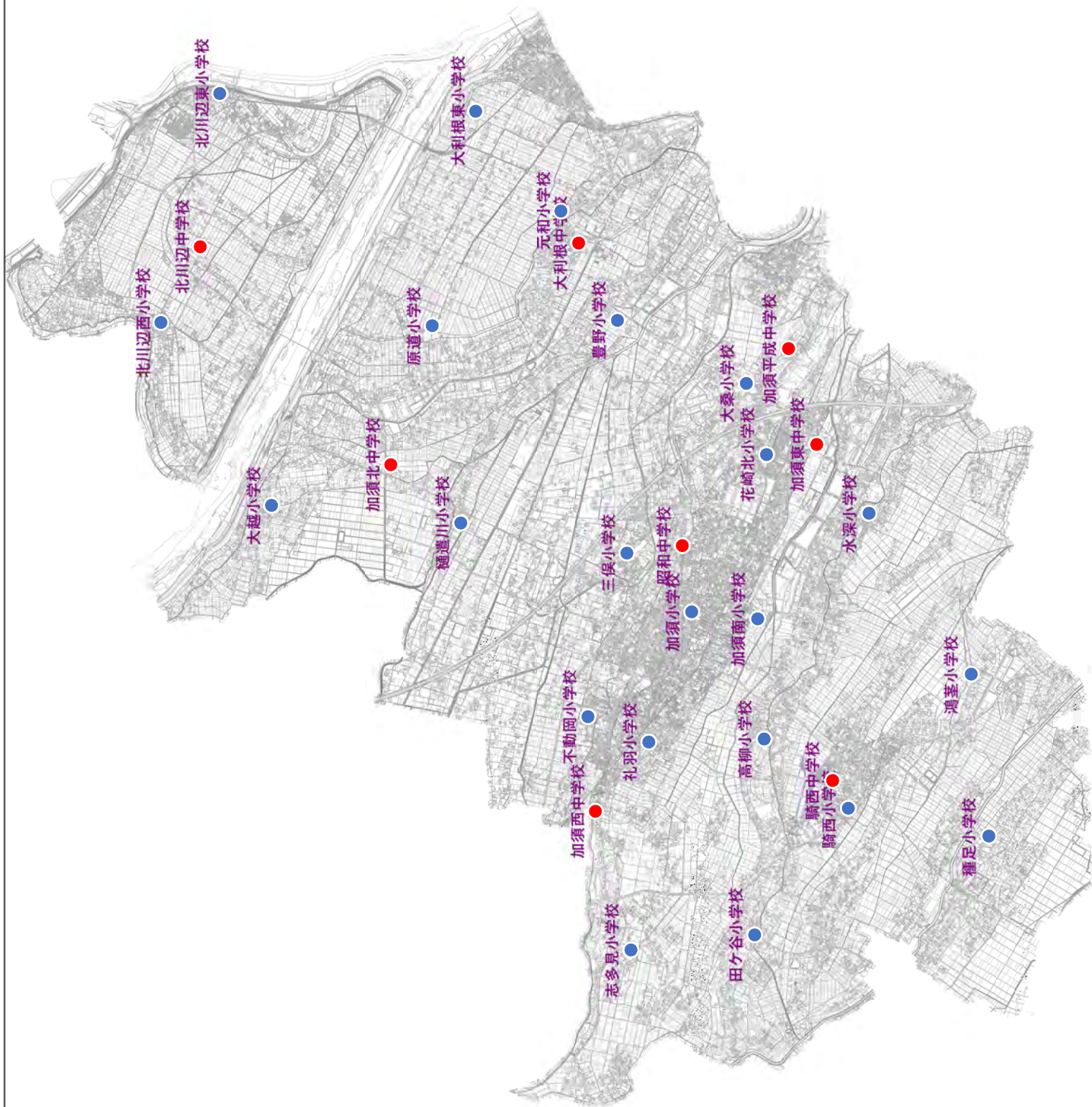
加須地域
騎西地域
北川辺地域
大利根地域

学校別児童数増減(H22からの増減)





# 小・中学校位置図



## 令和11年度 児童生徒数及び学級数(見込み)

令和5年5月1日現在

[小学校]		児 童 数							学 級 数							
NO	学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学	計
1	加 須 小	39	46	43	51	55	55	289	2	2	2	2	2	2	5	17
2	不 動 岡 小	12	17	18	17	24	25	113	1	1	1	1	1	1	2	8
3	三 俣 小	59	57	53	67	71	74	381	2	2	2	2	3	3	3	17
4	礼 羽 小	45	65	46	46	48	48	298	2	2	2	2	2	2	3	15
5	大 桑 小	60	54	65	60	73	69	381	2	2	2	2	3	2	5	18
6	水 深 小	81	105	90	95	114	107	592	3	3	3	3	4	4	5	25
7	樋 遣 川 小	14	14	6	11	14	10	69	1	1	1	1	1	1	2	8
8	志 多 見 小	12	17	10	23	13	14	89	1	1	1	1	1	1	2	8
9	大 越 小	4	3	5	7	5	7	31	1		1		1		1	4
10	花 崎 北 小	35	41	46	43	46	34	245	1	2	2	2	2	1	2	12
11	加 須 南 小	22	24	26	22	17	25	136	1	1	1	1	1	1	2	8
12	騎 西 小	34	32	37	33	16	36	188	1	1	2	1	1	2	2	10
13	田 ヶ 谷 小	10	11	13	10	13	21	78	1	1	1	1	1	1	2	8
14	種 足 小	5	16	5	16	11	20	73	1	1	1	1	1	1	2	8
15	鴻 荃 小	5	12	11	15	12	20	75	1	1	1	1	1	1	1	7
16	高 柳 小	28	24	33	33	41	40	199	1	1	1	1	2	2	2	10
17	北川辺西小	12	14	18	22	20	30	116	1	1	1	1	1	1	2	8
18	北川辺東小	10	22	19	16	17	24	108	1	1	1	1	1	1	2	8
19	大利根東小	30	31	37	33	31	35	197	1	1	2	1	1	1	2	9
20	原 道 小	5	1	7	6	12	12	43	1		1		1	1	2	6
21	豊 野 小	12	3	12	14	7	16	64	1	1		1	1	1	1	6
22	元 和 小	53	70	65	69	70	54	381	2	2	2	2	2	2	2	14
小学校計		587	679	665	709	730	776	4,146	29	28	31	28	34	32	52	234

[中学校]		生 徒 数					学 級 数							
NO	学校名	1年	2年	3年		計	1年	2年	3年		特学	計		
1	昭 和 中	178	194	187		559	5	5	5		3	18		
2	加 須 西 中	99	107	99		305	3	3	3		4	13		
3	加 須 東 中	132	120	124		376	4	3	4		4	15		
4	加 須 北 中	28	17	27		72	1	1	1		1	4		
5	加 須 平 成 中	102	84	105		291	3	3	3		3	12		
6	騎 西 中	121	134	122		377	4	4	4		4	16		
7	北 川 辺 中	43	52	54		149	2	2	2		2	8		
8	大 利 根 中	126	111	114		351	4	3	3		3	13		
中学校計		829	819	832		2,480	26	24	25		24	99		
[小・中学校計]		児童生徒数計					6,626	学 級 数 計					76	333

※令和5年4月1日現在の住民登録データを基に、今後の転出入・特別支援学校への入学等がないものとして見込んだ場合

※特学(特別支援学級)は、令和5年度の学級数

北川辺中学校区

令和5年度 児童生徒数及び学級数

令和5年5月1日現在

【小学校】		児童数						学級数								
NO	学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学	計
17	北川辺西小	21	20	29	31	31	33	165	1	1	1	1	1	1	2	8
18	北川辺東小	22	32	25	27	33	36	175	1	1	1	1	1	1	2	8
小学校計		43	52	54	58	64	69	340	2	2	2	2	2	2	4	16

【中学校】		生徒数				学級数					
NO	学校名	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	特学	計	
7	北川辺中	77	57	81	215	2	2	2	2	8	
中学校計		77	57	81	215	2	2	2	2	8	
【小・中学校計】		児童生徒数計				学級数計				6	24

令和11年度 児童生徒数及び学級数(見込み)

令和5年5月1日現在

【小学校】		児童数						学級数								
NO	学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学	計
17	北川辺西小	12	14	18	22	20	30	116	1	1	1	1	1	1	2	8
18	北川辺東小	10	22	19	16	17	24	108	1	1	1	1	1	1	2	8
小学校計		22	36	37	38	37	54	224	2	2	2	2	2	2	4	16

【中学校】		生徒数				学級数					
NO	学校名	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	特学	計	
7	北川辺中	43	52	54	149	2	2	2	2	8	
中学校計		43	52	54	149	2	2	2	2	8	
【小・中学校計】		児童生徒数計				学級数計				6	24

※令和5年4月1日現在の住民登録データに基づき、今後の転出入・特別支援学校への入学等がないものとして見込んで算出  
 ※特学(特別支援学級)は、令和5年度の学級数

文部科学省が都道府県・市町村の計画等を参考に作成し、中央教育審議会の初等中等教育分科会の小・中学校の設置・運営の在り方等に関する作業部会〔第8回：H20.12.2〕で配布した資料

### 学校規模によるメリット・デメリット（例）

	小規模化		大規模化	
	メリット	デメリット	メリット	デメリット
【学習面】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。</li> <li>・学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の中で、多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。</li> <li>・1学年1学級の場合、ともに努力してよりよい集団を目指す、学級間の相互啓発がなされにくい。</li> <li>・運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に制約が生じやすい。</li> <li>・中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しにくい。</li> <li>・児童・生徒数、教職員数が少ないため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りにくい。</li> <li>・部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力をさらに伸ばしやすい。</li> <li>・運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生じやすい。</li> <li>・中学校の各教科の免許を持つ教員を配置しやすい。</li> <li>・児童・生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、小学校の専科教員による指導など、多様な学習・指導形態を取りやすい。</li> <li>・様々な種類の部活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。</li> <li>・学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を設定しにくい。</li> </ul>
【生活面】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい。</li> <li>・異学年間の縦の交流が生まれやすい。</li> <li>・児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス替えが困難なことなどから、人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。</li> <li>・集団内の男女比に極端な偏りが生じやすくなる可能性がある。</li> <li>・切磋琢磨する機会等が少なくなりやすい。</li> <li>・組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス替えがしやすいことなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい。</li> <li>・切磋琢磨すること等を通じて、社会性や協調性、たくましさ等を育みやすい。</li> <li>・学校全体での組織的な指導体制を組みやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年内・異学年間の交流が不十分になりやすい。</li> <li>・全教職員による各児童・生徒一人ひとりの把握が難しくなりやすい。</li> </ul>



<p>【学校運営面・財政面】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員間の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい。</li> <li>・学校が一体となって活動しやすい。</li> <li>・施設・設備の利用時間等の調整が行いやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員数が少ないため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた配置を行にくい。</li> <li>・学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いにくい。</li> <li>・一人に複数の校務分掌が集中しやすい。</li> <li>・教員の出張、研修等の調整が難しくなりやすい。</li> <li>・子ども一人あたりにかかる経費が大きくなりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員数がある程度多いため、経験、教科、特性などの面でバランスのとれた教職員配置を行やすい。</li> <li>・学年別や教科別の教職員同士で、学習指導や生徒指導等についての相談・研究・協力・切磋琢磨等が行いやすい。</li> <li>・校務分掌を組織的に行いやすい。</li> <li>・出張、研修等に参加しやすい。</li> <li>・子ども一人あたりにかかる経費が小さくなりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員相互の連絡調整が図りづらい。</li> <li>・特別教室や体育館等の施設・設備の利用の面から、学校活動に一定の制約が生じる場合がある。</li> </ul>
<p>【その他】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域社会との連携が図りやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA 活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA 活動等において、役割分担により、保護者の負担を分散しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい。</li> </ul>